

まちの価値創造を目指して「瀬戸内市統合報告書」(岡山県瀬戸内市)

取組概要

統合思考により持続可能なまちづくりを行うため、企業や大学を中心に作成されている「統合報告書」の作成に着手し、令和5年3月に「瀬戸内市統合報告書2022」を発行しました。この「統合報告書」は、国際統合報告評議会(IIRC)のフレームワークに沿って作成した地方公共団体としては全国で初めての取組です。令和6年3月には「瀬戸内市統合報告書2023」を発行しており、市全体を概観しながら本市の価値を理解していただくことができるものとして、組織内外との強力なコミュニケーションツールとして活用しています。

取組の効果

統合報告書は、市民や企業などへの説明資料や、市のプロモーションツールとして活用しており、分かりやすいツールであると評価をいただいています。職員の統合思考を醸成することにもつながっており、作成過程も含めて有効な取組です。

創意・工夫した点

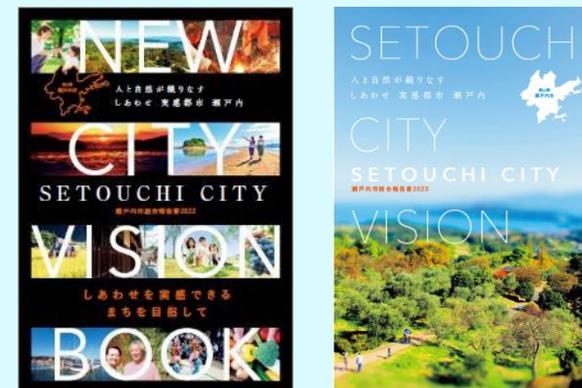
作成に当たっては、有識者にアドバイスをいただきながら、部署横断的に集まった職員による検討会議を設置して進めました。職員の統合思考も養われ、職員の能力向上にもつながっています。

他団体へのアドバイス

統合報告書はまちの魅力や課題、取組などを伝え、様々なステークホルダーとコミュニケーションを図るためのツールとして非常に有効です。是非一緒に統合報告書の導入を進めましょう！

人口 36,484人(R6.1.1現在)

担当:総合政策部企画振興課



瀬戸内市統合報告書 左) 2022 右) 2023



統合報告書2022検討会議メンバー